

◆ Yokoso Obara Linkai

Take Free [0円]

おばらのじかん

— 第15号 —

2018 Winter

巻頭
特集

定番から新しいものまで

おばらの 秋のイベント

[新しいおばらの習い事]

[イラッシャイ小原へようこそ小崎さんご一家]

[マンガイカくんキンちゃんの小原日記]

[小原いろいろ情報]

ゆる〜り里山を満喫!

巻頭特集

おぼらの秋のイベント

秋の小原地区は、定番の小原文化まつりを皮切りに、小原最大のイベント四季桜まつりや、最近人気の419市とイベントが目白押しです。そんな最近の小原のイベント事情をご紹介します。



小原ふれあい公園の遊歩道



川見四季桜の里

小原ふれあい公園ステージ

川見近くの柿ヶ入沢

小原文化まつり
主催：小原文化まつり実行委員会
盛上げよう 楽しもう
みんなの小原文化まつり



小原歌舞伎公演「車引きの場」



館内展示や体験の様子

野外でのバザーの様子



中学校吹奏楽部の演奏

11.1~11.30
四季桜まつり

小原地区最大のイベントはなんと言っても四季桜まつり。今年台風の影響で、早くから四季桜が咲き始め、雨も少なく、風もあまり吹かなかったことで、四季桜と紅葉の風景が長く楽しめる当たり年となりました。新聞やテレビ、ラジオにも過去最大に取り上げられ、昨年より3万人も多い16万人の来場者がありました。

四季桜とは、春と秋に花を咲かせる不思議な桜で、花は二重の白または淡紅色小粒で可愛らしい桜。見頃となる11月には、小原地区各所が「四季桜まつり」の会場となります。四季桜は住民たちの努力で小原地区内のあるところに植えられ、現在、約10,000本が植栽されています。

11月1日に始まった、四季桜まつりのメイン会場「小原ふれあい公園」のステージでは、恒例のオープニングイベントが行われ、和紙のふるさと太鼓の演奏でまつりの幕が開きました。ここは出店が一番多く、最近では新規に参加がしやすくなったことでお店も多彩になり、より楽しめるようになりました。ステージでは、地元の小原中学校の吹奏楽部やそのOBの演奏、本城小学校の打ちばやしなど、地元ならではのイベントも開催されました。

山まるごとに四季桜が植えられ、圧巻の絶景が見られると人気のビュースポット「川見四季桜の里」会場。山の下からはもちろん、四季桜の遊歩道を山頂まで歩くと別世界が広がります。川見の会場から歩いても行ける「北部生活改善センター」会場は、地元の野菜や料理などをたくさん扱った小原軽トラ市の出店が人気。人柄も温かで交流も楽しめます。

和紙漉きの体験もできる「和紙のふるさと」会場では、和紙やアートに関する独自のイベントがたくさんあり、小原和紙工芸作家の工房めぐりや写生大会などが行われました。自分で和紙を漉いて御朱印帳を作る体験が大変人気です。他にも最近では大洞町や大坂町の四季桜ビュースポットも穴場として人気になっています。



小原ふれあい公園の露店

10.21sun
小原文化まつり

さわやかな秋晴れの中、小原交流館で小原文化まつりが開催されました。多数のステージ出演やバザーの出店があり、多くの来場者が訪れて盛り上がりました。

オープニングステージでは、小原中学校吹奏楽部の演奏や道慈小学校の児童による合唱が始まり、「和紙のふる里太鼓」が太鼓のオリジナル曲を演奏するなど、まつり気分を盛り上げてくれました。

恒例の小原歌舞伎公演では、子供歌舞伎が演じられました。午前中は王道の菅原伝授手習鑑「車曳きの場」、午後は稚児揃曾我の敷き皮「由比ヶ浜の場」と二幕が上演され、応援のおひねりもたくさん飛びました。公演後には役者が集合して行われる撮影会が恒例となり、これも楽しみの一つになっています。

文化まつりの展示スペースには、小中学生や自主グループによる絵画や書道、工作、写真など数多くの展示がありました。中でも小原山野草会の山野草の展示は個々に野草をめぐる目線が個性的で面白い展示でした。

他には本格的なお抹茶を飲めたり、おぼらつきー(小原のゆるキャラ)とのクイズなどが行われたほか、体組成計を使った健康チェックでは、手足の筋肉量や体脂肪などを細かくチェックでき、健康に活かせるという人気でした。

今年にはバザー出店がとても多く、軽トラック市で人気のパン屋さんはすぐに完売。地元ならではの採れたて野菜や五平餅へぼ飯や鳥ソー(鳥ソーセージ)なども好評でした。また、手筒花火の団体小原宴火やハーバリウム体験、アロマのワークショップやハーブマツサージなど新しいブースも多く、今までに無いイベントとなりました。来年の文化まつりも楽しみです。



小原山野草の会展示



419市 10.28sun (松月寺)

「行けないのなら呼んでしまおう。」そんなコンセプトで始まった419市も今回で8回目を迎えました。四季桜もちらほら咲き始めた、秋の419市におじゃまし、中心メンバーのお母さんにお話を伺いました

お話を聞いた人:小原大倉町 濱辺あいさん



雨が心配されましたが、
いいお天気で良かったですね。

直前まで雨の予報だったので、ほんとに
ほっとしました。あまりお天気が荒れるよ
うなら今回は中止にすることになっていた
ので。

今は松月寺さんでやっているんですね。
そうなんです。はじめは4・19製作所
でやっていたんですが、だんだん出店者さん
やお客さんも増えて、収まり切らなくなっ
て。松月寺さんに駐車場の開催をお願い
したら、快く受け入れてくださいいまし
た。地元大坂町のお母さんたちも出店し
てくださって、ありがたいです。

「行けないのなら呼んでしまおう」とは？

もともとはじまりは、私たちに子供
が生まれたりして、小さな子供連れ
で、遠くのイベントやマルシェに行くのが大
変になったことです。だったらそんなイベン
トに出店しているお店を小原に呼んでし
まおう！と。自身が作家だったりお弁当
やフランス菓子で出店経験がある仲間も
いたので、その経験を活かしつつ始まりま
した。今はそれぞれのパートナーも巻き込
んで、ライブや映画上映、駐車場係までこ
なしています。

多彩な才能が集まっているんですね。
とんでもない。みんな普通のお父ちゃん
母ちゃんです。子連れでワイワイがいつもの
スタイルなので、「どの子が誰の子？誰と誰
が夫婦？わからない！」ってよく言われま

すよ。でも、遠慮のない問柄ができてきて、
意見を言い合ったり、できないことは助け
を求めたり、良い形ができてきました。

大変なこともありますか？

そうですね。たくさんお客さんが来て
くださるようになって、交通整理や駐車場
の案内が必要になってきました。人数が少
ないので、なかなか行き届かなくて。目下
の課題です。でも手伝いを申し出てくだ
さる人もいて、助けられています。まだま
だ発展途上ですし、地元の方の協力なく
しては成り立たないイベントですので、温
かく見守っていただけたら嬉しいです。
次回は3月31日に開催予定です。今
度は春の4・19市に、ぜひ遊びに来てく
ださい。

A.H

新しいおばらの習い事

音やペンギン食堂



店内に入ってまず楽
器の種類の多さに驚き
ます。約五十種類の楽
器があるそうです！楽
器を教えてくださいさるの
は、店主の加藤祐輔さん
(写真右)。現在50名の
生徒さんを教えていらっ
しゃるそうです。

ギターを教わる生徒
さんは、上仁木町に住む
女性。偶然通りかかった
お店の前でギターの看板を見て気になっていたそうです。
「歳を重ねると車で遠くまで習いには行けない。近くで習
うことができて本当に嬉しい。」とお話してくれました。
遠くの街中まで車を運転したり、バスや電車を乗り継い
で習い事に通い続けるのはだんだんと億劫になりそう
です。小原の中で習うことができ、生涯続けられる趣味が
あるのは素敵ですね。



ドラムを習う小学生の生
徒さんは、お母さんが教室
に通うのをきっかけに習い
始めたそうです。習い始め
はギターとドラムを迷い両
方やってみましたが、先生
の提案でドラムに決定。教
室でも自宅でも頑張って練
習しているそうです。異な
るリズムを手のスティックと
足のペダルで演奏する姿はとてまかつよかったです！お
母さんの話では、「先生が現役のミュージシャンなので、子
供が小さいうちから本物の音楽に触られます。色々
なジャンルの音楽ができるので、子供に合ったものを勧め
てくれるのがありがたいです。」とのこと。楽器を途中か
ら転向したり、レッスン時間を親子や兄弟で分け合った
り、柔軟な対応が好評です。少し見学させてもらっただ
けでも、お話しもわかりやすく、とても親しみやすい先生
でした。

A.H
M.U

フットサル教室

毎週金曜日の夜7時〜9時までの2時間、小原中学校
体育館でフットサル教室が開かれているのをご存知でし
たか？始まって約一年半のこの教室には現在、園児〜小学
校高学年の子供達を通い、女の子の姿も目立ちます。

コーチを務めるのは柏ヶ洞町に住む曾我真さん。教室
を始めたきっかけは、自分の子供のためにフットサル教室
を探したところ、遠くて時間もかかり、なかなか条件の合
う教室が無かったこと。曾我さん自身が高校時代から
サッカー経験もあることから自分で教室を始められたそ
うです。曾我さんはなんとスキートの元選手で指導員でも
あるそうで、子供達と一緒に走り指導する姿に納得です。
教室は二日一人二百円で、月謝制ではなく、来た時だけ
払うシステム。来たい時、来
れる時に参加できるのも大
きな魅力です。子供達は年
齢差や体格差があっても互
いに気遣いながら、のびのび
と体育館を走り回っていま
した。

フットサルはもちろん、教
室での体験を通して色々学
ぶことができる素敵な教室
です。興味のある方は金曜日
の教室を訪れてください。



M.U

「消費的でなく自立した幸せを獲得できる」小崎ご夫婦とお話しをさせていただいて、そんな熱いメッセージを感じました。

小崎さんご夫婦が目指す「半農半X」という生き方とは、生活費を稼ぐ生き方ではなく、大好きなことを大切に思うことをしながらイキイキと暮らすために、「自分の時間の半分を使って自分や家族の食べ物を作るための農業(自給農)をやり、残りの半分の時間で、自分がやりたいことをやろう」という生き方だそうです。

小原にはそんな生き方を選び、楽しんでる方が多いと感じます。ご夫婦は、「これからの人たちにとって、ひとつの大きなヒントになるような住み方、生き方を目指して皆さんのシヨールームになれたら嬉しい。」と輝く笑顔で語られました。

木工作家であるご主人は、「自身の工房をセルフビルドされた経験を活かして、小原に移住するにあたり、新居をセルフリノベーションされた。人にも環境にも、とても優しい空間で、至る所にアイデアや生活を楽しむエッセンスがちりばめられています。奥様は陶芸家。「夫はハード面。私はソフト面の担当です」というご自身のお言葉がピッタリで、作品からもご自身からも「あたたかさ」が感じられます。お二人共、会社員や様々な経験をされてきて今があり、ブレない芯の強さ、しなやかさを感じました。

小原には様々なジャンルの素晴らしい作家さんがいらつしやいます。その小原に引き寄せられるように移住が決まったご夫妻。新居の条件であった①標高500メートル以上②気持ちよい風が通り抜ける③日当たりが良い④小さな家⑤水が綺麗な5点全てクリアしたこの場所を選ばれたそうです。移住されてまだ半年も経っていないなんて思えないほど地域やお友達との交流があり、とても楽しそうでした。

「岐阜に残してきた工房を新居の裏に移築して、私たちの姿を娘や次の世代に繋げていける自分でありたい。やりたい事いっぱいです！まだまだこれから！」と笑顔いっぱい語られるお二人の姿にポジティブなパワーを沢山いただきました。

M.T



小崎博幸さん、亜希子さん、娘の衣都ちゃん



奥さんの作った器



ご自身でセルフリノベーションされたお宅



おばら地区の物件を探すなら!

豊田市 空き家バンク 検索
www.city.toyota.aichi.jp/akiya/

おばら以外の人でもOK!
小原の情報ページ『おばらゆう卒』是非登録してね!
www.facebook.com/obachuu

0565(65)2683
0565(65)2683
豊田市目面町下田534-1
蚕霊神社

M.T

愛知高原因定公園内にあり、蚕を祀りしている神社として知られる。

蚕霊神社

元日祭(1月1日)

節分(豆まき)(2月3日)

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

和紙のふるさと

豊田市水太郎町216-1

0565(65)2151

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

小原和紙を通じて交流のある方の作品展

STAFF 小原白宇感 編集後記

暖かかった11月から一転、急に真冬が来たような12月。数年に一度の素晴らしい咲きぶりを見せてくれた四季桜が今では夢のような気がします。今年はどうな冬になるのかなあ。と、こたつでみかんを食べながら。

A.H (今号編集長)

小原に住んで10年以上ですが、知らない事がまだたくさんあって新しい発見にわくわくします。小原の好きなお店は、夜ちゃんと暗くなって街が眠るところです。無い物を数えるよりも、今ある物を大事にして感謝していきたいです。

M.U

四季桜、紅葉、笑顔で溢れた素敵な人々...["やらなきゃ"から"やりたい"]にスイッチして生きていきたいな。できるだけ... (笑)と、更に心に刻ませて頂いた出会いに恵まれた小原移住2回目の秋。今いる事に感謝です。

M.T

豊田市の中山間部でも、小原には商店街が存在しない。昔は小原町にも商店街があり、映画館やパチンコもあったと聞きます。特集したイベントにでている出店者さんは多彩で面白い。いつか小原でもお店が増えるといいな。

T.S